

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0304	政策名	スポーツの振興	施策主管課	スポーツ振興課	課長名	鈴木 直明
政策の目指す姿	いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、元気に活動しています						
施策No	03	施策名	大規模スポーツ大会の開催	関係課名	地域づくり課		
施策の目指す姿	スポーツ交流が拡大し、スポーツへの関心が高まっています						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模スポーツ大会やイベントの入込者数は増加しているが、大会や合宿の誘致件数は横ばいの状態です。 						

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模大会開催や合宿誘致については、市民や各競技団体の会場利用を優先しながら、比較的会場確保がしやすい平日を中心に進めていくこととする。
反映状況	<ul style="list-style-type: none"> ・はなまきスポーツコンベンションを核としたスポーツ大会・イベントの誘致を進めた。 その結果、7団体の合宿につながった。 [東経大硬式野球部、東大バスケットボール部、東大アイスホッケー部、ボート日本代表(シニア)、ボート日本代表(U-23)、東外大ボート部、東大ボート部]

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<ul style="list-style-type: none"> (1)スポーツイベント・大規模大会の誘致 はなまきスポーツコンベンションビューローを核としたスポーツ大会の誘致と開催支援 (2)合宿の誘致 「東京オリンピック事前合宿」を含む合宿の誘致促進 ・競技用備品(審判艇1艇)購入 広域的な連携による合宿の誘致推進 (3)大規模スポーツ施設の充実 大規模大会などに対応した施設の計画的改修 ・総合体育館第3アリーナ床塗装、総合体育館柔道畳(2面分)購入、市民体育館床改修(タラフレックス仕様)など
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
大規模スポーツ大会やイベントの入込者数	スポーツによる交流人口が拡大し、スポーツ交流の機会の充実度を示す指標	市スポーツ振興課が把握する数値 次のスポーツ大会やイベントに係る入込者数 (1)東北規模以上のスポーツ大会 (2)1千人以上の入込のある県大会 (3)スポーツ興業やスポーツイベント	千人	目標値		192.00	195.00	198.00		
				実績値		117.00	134.00	145.00		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「大規模スポーツ大会やイベントの入込者数...【達成度C】令和元年度の入込者数は、平成30年度に比べ約11,000人の増加であった。平成28年度の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会までは、各競技団体が国体に向けて選手強化を狙いとした大規模大会を開催してきた。平成29年度以降の入込数は、平成28年度に比べ減少傾向であったが、各競技団体やスポーツコンベンションビューローの積極誘致により、H29からH31は増加傾向となっている。また、東北規模以上のスポーツ大会開催件数は横ばいとなっている。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>・市内には7,000人規模の宿泊収容人数があり、大規模場スポーツ大会・イベントの入込数の増加が市内経済波及効果へつながらることから、比較的会場確保がしやすい平日を中心に大規模大会や合宿を今後も進めていく。 ・施設利用者が若干減少傾向ではあるが利用者の利便性を図るため、今後も計画的に施設整備を進めていく。 (H30：678,639人 R1：649,437人 1,798人)</p>
新たにに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

<p>課題</p> <p>・各競技団体が一堂に会しての体育館利用調整会議を毎年8月と2月に開催し、1～2年後の大規模大会の会場を確保しており、かつ多くは土日や祝日の大会が主である。 利用調整後の大規模大会や合宿誘致の会場確保が難しいため、比較的会場確保がしやすい平日を中心に進めていく。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>・大規模大会開催や合宿誘致については、市民や各競技団体の会場利用を優先しながら、日程調整がしやすい平日を中心に誘致を行う。 ・次年度以降の成果指標については、「大規模スポーツ大会やイベントの入込者数」についてはH30の実績値に基づいた指標とし、新たにスポーツ交流の充実度を示す指標として「東北大会以上の大会開催数」を加えることとする。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
010	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費	スポ振興	一致	直結	C
	はなまきスポーツコンベンションビューローのスポーツ大会や合宿誘致活動支援 (全国規模のスポーツ大会誘致件数5件、スポーツ合宿件数大規模スポーツ大会7件・イベント入込者数144,933人)				
			A		
020	スポーツ施設環境整備事業費	スポ振興	一致	直結	C
	施設の改修・修繕等(施設整備件数12件) 施設利用者数(649,437人)				
			A		
030	田瀬湖ボート場環境整備事業費	スポ振興	一致	直結	-
	競技用備品(審判艇1艇)購入				
			A		
040	インターハイ開催事業費	インハイ	一致	直結	-
	競技運営専門委員会(計4回)の開催 広報活動(PR看板、のぼり、うちわ、クリアファイル)を作成、実行委員会HPを開設してのPR				
			A		